

企画提案書については、下記に留意の上、作成すること。

注1) 枚数制限なし。(但し、ポイントを押さえて簡潔に記載すること。)

注2) 必要な場合には補足説明資料を添付すること。

1 提案する具体的な内容

(1) 詳細

ア 実践型研修プログラム【 戦略策定コース 】について

※ 県内企業60社以上をどのように集めるのか、周知方法、案内等を具体的に記載すること。

※ 「攻め（データ利活用による新たな付加価値やビジネスモデルを創出し、競争力を強化する）」と「守り（既存業務プロセスの見直し、デジタル技術で効率化・省力化に取り組む。）」のDXに向けて、デジタル技術を活用した業務改善を検討・推進できる人材をどのように育成するのか具体的に記載すること。

※ 4回以上の策定講座について、参加企業が「攻め」と「守り」のDXに向けた事業戦略、業務改善計画の策定ができるよう創意工夫を行うこと。加えて、参加者の途中離脱が出ないよう運営体制を整備すること。

※ 参加企業のDX推進状況に係る事前診断の内容、実施方法等を具体的に記載すること。

※ 講師については、DXの深い理解があり、企業の「攻め・守り」のDXを熟知している者を選定すること。講師の実績や経歴などを記載し、どのような役割・立場を担うのかなど具体的に記載すること。

※ 後述する「イ 実践型研修プログラム【実践コース】」の実施も含み、令和9年2月までに完了するスケジュールとしていることから、計画的な記載とすること。

イ 実践型研修プログラム【 実践コース 】について

※ DX戦略や業務改善計画に基づき、デジタルツールを活用した業務改善やデータ利活用による新たな付加価値に取り組む人材をどのように育成するのか具体的に記載すること。

※ 「ア 実践型研修プログラム【 戦略策定コース 】」参加企業のうち、研修を行う支援先企業20社以上をどのように選定するのか具体的な選定項目とその理由を明記すること。

※ 研修先企業について1社あたり2回以上の研修を実施すること。研修を受ける社員等が、デジタルツール導入による業務改善等を通して「小さな成功体験」を体感できるような研修内容、実施期間を具体的に記載すること。

※ 講師については、デジタルツールやデータの利活用に関する知識・経験が豊富で、企業研修の実績を持つ者を選定すること。講師の実績や経歴などを記載するとともに、どのような役割・立場を担うのかなど具体的に記載すること。

※ 支援先企業のデジタルツール比較・検討の支援及び導入実証の実施に当たり、想定されるデジタルツールや比較・検討の手法など具体的に記載すること。

※ 想定されるデータ利活用の研修内容について具体的に記載すること。

- ※ 支援先企業へのフォローアップについて、方法等を具体的に記載すること。また、当該フォローアップに合わせ実施するアンケート調査の項目も提示すること。
- ※ 令和9年2月までに完了するスケジュールとしていることから、計画的な記載とすること。

#### ウ 生成AI利活用講座について

- ※ 延べ100名の参加者をどのように集めるのか、周知方法、案内等を具体的に記載すること。
- ※ 全4回の講座において、生成AIに関する基礎知識や最新トレンドなどの具体的な内容、実施方法等について記載すること。
- ※ 登壇する講師を提示すること。
- ※ 「ア 実践型研修プログラム【 戦略策定コース 】」に誘導できるよう創意工夫を行うこと。
- ※ 令和9年2月までに完了するスケジュールとしていることから、計画的な記載とすること。

#### エ 「DXけん引人材育成事業」の取組事例集の作成

- ※ 一連の取組について何を盛り込むのかを具体的に記載すること。

#### オ その他

- ※ 事業内容について補足があれば記載すること
- ※ 上記「1. 提案する具体的な内容ア～エ」以外で、提案したい内容があれば、ここに記載すること。

## 2 達成目標

- ※ 委託事業において、達成すべき目標などを定性的、定量的に可能な限り明確に記載すること。なお、目標の設定に際しては、仕様書に記載の「5 業務における達成目標」を確認すること。

#### 【参考：本業務における達成目標】

- (1) DX事業戦略策定企業 60社以上
- (2) デジタルツール導入実証企業 (1)のうち20社以上  
(1)、(2)によりDXをけん引する人材の育成 200名以上
- (3) 生成AI利活用講座参加者 延べ100名以上